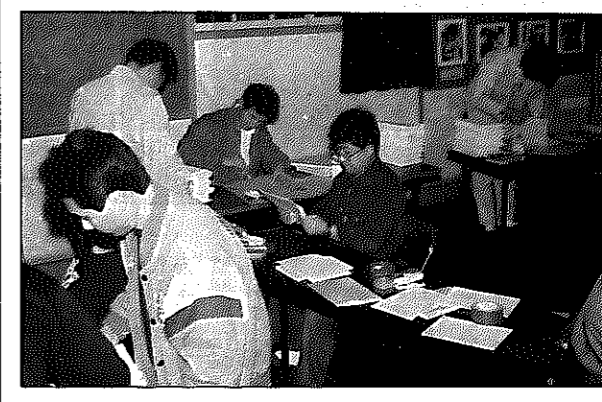


身近な情報をお寄せください

企画調整課広報広聴係 ☎373-2111 ㊤333

## 庄瀬の歴史が本に 庄瀬小PTA 地区公民館

庄瀬小学校PTAと同地区公民館では、このほど小冊子「庄瀬の歴史」を発行しました。これは同小学校のPTAだよりに「郷土史シリーズ」として、昭和六十二年から五年間連載されていたものを、執筆者の竹石遯さん（白根市役所）が加筆し、史料などを加えて一冊の本にまとめました。庄瀬にゆかりの人物や地元にある石碑、馬場屋敷遺跡などの話が十五編掲載されています。製本は児童とPTA役員らの共同作業。PTAでは一人ひとりが地元の歴史の語り手になってと、この小冊子を地区全戸に配布しました。



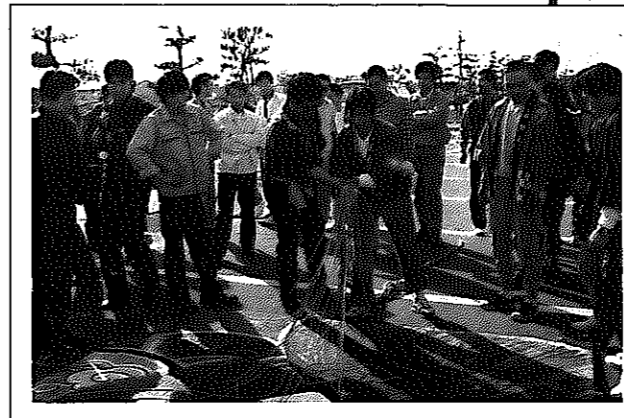
## 秋の白根路を16チームが力走 市一周 駅伝大会

白根市一周駅伝大会が十一月十七日、絶好の天候の中で行われました。今年で二十回目を迎えるこの大会、中学生の部には三チームが、一般の部には近郷のマラソンクラブや職場チームなど昨年より四チーム多い十三チームが参加しました。各チームは青年教育センター前を午前十時にスタート。次の走者にたすきを少しでも早く手渡そうと、懸命に走っていました。大会の結果は次のとおりです。  
▼中学生の部 ①村上第一中学校  
▼一般の部 ①東京学館新潟高校  
②黒埼 ③新潟大学



## 子供大風はこれでOK 子供大風 指導者講習

子供大風合戦の指導者講習会が十一月一日から四回にわたって行われました。これは中央公民館と味方村公民館が指導者養成のために共催したものです。子供会の指導者ら約五十人が参加しました。風の作り方は各組によって違う部分も多く、風合戦協会では「この講習の標準的な風の作り方に各組が独創性を加え、伝統を継承、発展させてほしい」と期待を。中央公民館では風作りの要点をビデオに収録、二巻のテープにまとめました。希望者には四千円であっせんします。詳しくは同公民館 ☎373-3174 へ問い合わせください。



## 絵本の面白さを実感 絵本の読み聞かせ教室

市立図書館では「絵本の読み聞かせ教室」を十一月十一日から十六日まで六日間にわたって行いました。これは、小学校低学年を対象に、絵本の楽しさを知ってもらおうと計画したもので、一般から募集した五人がボランティアで読み手に。十二日は青木きよ子さんと須田英子さんが読み手となって、約十人の子供たちに「クリスマスにはやっぱりサンタ」「アリババと四十人のとうぞく」など三冊の絵本を読み聞かせました。あまり本に親しむことが少ない現代の子供たち、絵本の面白さを乗り出して聞き入っていました。



## 安全確認してるかな? 白井交通 安全フェア

白根市農協などの主催で、十一月五日、交通安全フェアが行われました。会場の白井中学校には地元の交通安全協会をはじめ、小中学生など四百人余りが参加。自転車指導や人形を使った飛び出し事故の実演、県警音楽隊の演奏などが行われました。自転車指導では小中学生と老人クラブの代表が実技。信号での右折の仕方や一時停止など、安全確認を中心に自転車指導員が細かいチェックを行います。中には緊張して転んでしまった人も。指導員は「だれでも乗れる自転車だけに、一人ひとりが正しい乗り方を」と話していました。



## 会津八一の歌に感激の涙 文芸セ 文芸セ

文学に親しむ秋、市立図書館では十月十九日と二十六日に「会津八一と吉野秀雄」と題した文芸セミナーを開催。このセミナーには五、六十代を中心に二十四人が参加しました。十九日は、新潟東高校教諭の若月忠信さんが講演。新潟市出身の歌人会津八一と門下生吉野秀雄の師弟関係を越えた交流やエピソード、歌の奥深い内容を紹介。八一の歌に感激し涙を流して聞き入っていた人もいました。また、二十六日は、新潟市にある会津八一記念館を訪問。書や八一と秀雄の往復書簡などを熱心に見学しました。



## 人気上々の陶芸バザー 白根地区 文化祭

十一月二日から四日まで白根地区文化祭が中央公民館を主会場に開かれました。文化祭には公民館を利用しての団体などが、陶芸、白根織り、書道、油絵、盆栽、生け花などを出品。訪れた約二千人の地区民の目を惹きつけてくれました。陶芸は今回初めての取り組みとして、五つの陶芸サークルが一緒にバザーを実施。自分たちが心を込めて作った花瓶、皿、はし置きなどを即売しました。人気も上々で、用意した作品はほとんど完売。売上金は中央公民館の陶芸用品の購入に充てられる予定です。



## 火の用心は台所から 一日消 防署長

十月二十九日、スポーツクラブなどの婦人十七人が一日消防署長・消防署員を務めました。これは秋の火災予防運動の一つとして行われたもの。消火器の使い方や、天ぷらなべの油に火が入った場合の消火訓練などを行った一日署員たち。「いざというときに、今日やったようにできるかどうか分かりませんが、いい体験ができました」と話していました。市内では今年既に十四件の火災が発生、八千七百七十五万円が灰になりました（十月末現在）。火を使う機会が増える季節を迎え、消防署では防火の徹底を呼び掛けている。

